

平成25年における国内のクロマグロ養殖実績について(速報値)

水産庁は、平成25年における国内のクロマグロ養殖業者の養殖実績を取りまとめました。

1.背景・趣旨

農林水産省は、我が国が太平洋クロマグロの最大の漁業国かつ消費国であることを踏まえ、太平洋クロマグロの管理について取り組むべき基本的な方向性を記した「太平洋クロマグロの管理強化についての対応」(平成22年5月11日農林水産省発表プレスリリース)に基づき、国内におけるクロマグロ養殖の実態を正確に把握するため、全国のクロマグロ養殖業者から報告のあった養殖実績について、暦年ごとに取りまとめ、平成23年から毎年この時期に公表することとしています。

なお、農林水産省は、クロマグロ養殖場について、原則として、(1)各県の1年当たりの天然種苗の活込尾数が平成23年から増加するような養殖漁場の新たな設定を行わないこと、(2)生け簀の規模拡大により各県の1年当たりの天然種苗の活込尾数が平成23年から増加することのないよう、漁業権に生け簀の台数等に係る制限又は条件を付けることについて、漁業法の規定に基づく農林水産大臣の指示を、平成24年10月26日付けで都道府県に対し発出しています。

2.結果

平成25年のクロマグロ養殖を営む経営体の数は92で、平成24年及び平成23年の83に比べて9経営体増加しました。また、平成25年の養殖場の数は147で、平成24年の140に比べて7養殖場、平成23年の137に比べて10養殖場増加しました。ただし、この養殖場の増加は人工種苗を用いる又は既存の天然種苗を用いるものを分割したものであり、天然種苗の活け込み尾数を増加させるものではありませんでした。

平成25年のクロマグロ種苗の活け込み数は61万1千尾で、平成24年の47万4千尾に比べて13万7千尾増加ましたが、平成23年の75万3千尾を14万2千尾下回りました。活け込み尾数が変動しているのは、天然種苗の漁模様の変動が主な要因と考えられます。

なお、平成24年10月26日付けの農林水産大臣の指示に従い、漁業権の免許の切替えに際して、30の養殖場の免許について、人工種苗のみを活け込むよう制限されました(平成25年12月末現在)。また、その他の養殖場については、天然種苗を活け込む生け簀の台数等について上限が付されました。

(1)クロマグロ養殖を行っている経営体の数(各年の末日における数)

①経営体の数(住所・所在地別)

②県別経営体の数(のべ数)

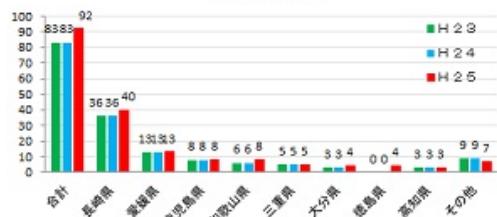
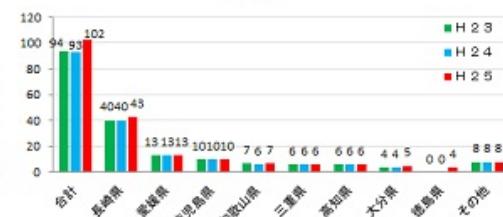
全国計:92経営体(平成25年)全国計:102経営体(平成25年)

83経営体(平成24年)

93経営体(平成24年)

83経営体(平成23年)

94経営体(平成23年)

経営体の数
(住所・所在地別)県別経営体の数
(のべ数)注1: 個人にあっては住所、法人にあっては本社の住所により計上
注2: その他は、東京都、島根県、山口県、佐賀県、熊本県注1: 府県内にクロマグロ養殖場を有する経営体数を計上
注2: 1養殖業者が複数の府県で養殖を行っている場合はそれぞれの府県で重複して計上
注3: その他は、京都府、島根県、山口県、佐賀県、熊本県、宮崎県、沖縄県

(2)クロマグロ養殖場及び養殖生簀の数

①養殖場の数(各年の末日における数)

②養殖生簀の数(暦年集計)

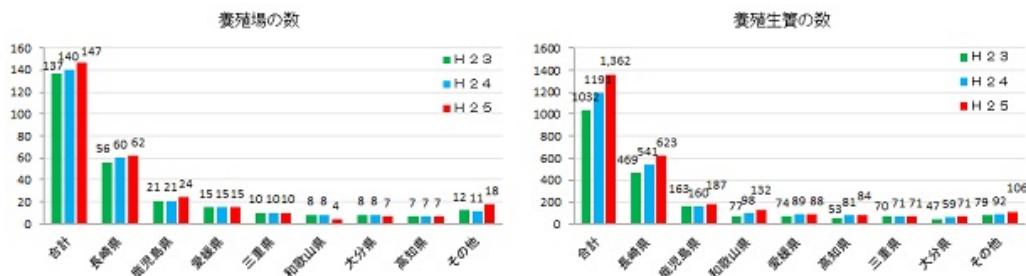
全国計:147養殖場(平成25年)全国計:1,362台(平成25年)

140養殖場(平成24年)

1,191台(平成24年)

137養殖場(平成23年)

1,032台(平成23年)



注1: その他とは、京都府、島根県、山口県、徳島県、佐賀県、熊本県、宮崎県、沖縄県

注2: 「H23」、「H24」、「H25」の数値は、それぞれの年の末日のもの

(3)クロマグロ種苗活け込み数(暦年集計)

(注)活け込んだ種苗は、数年の養殖期間を経た後に出荷されます。

全国計:611千尾(平成25年)

473千尾(平成24年)

753千尾(平成23年)

①うち天然種苗

全国計:347千尾(平成25年)

205千尾(平成24年)

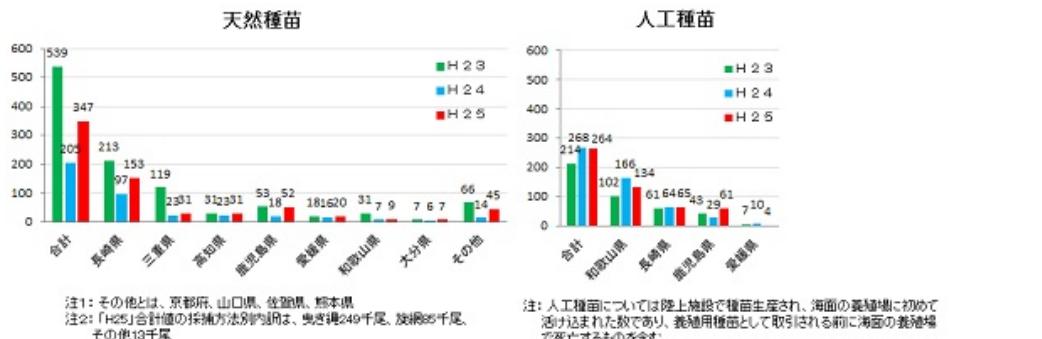
539千尾(平成23年)

②うち人工種苗

全国計:264千尾(平成25年)

268千尾(平成24年)

214千尾(平成23年)



注1: その他とは、京都府、山口県、佐賀県、熊本県、沖縄県

注2: 「H25」合計値の採捕方法別内訳は、曳き網249千尾、旋網85千尾、その他13千尾

注: 人工種苗については陸上施設で種苗生産され、海面の養殖場に初めて活け込まれた数であり、養殖用種苗として取引される前に海面の養殖場で死亡するものを含む

(4)養殖クロマグロ出荷数量(暦年集計)

①出荷尾数

全国計:197千尾(平成25年)

177千尾(平成24年)

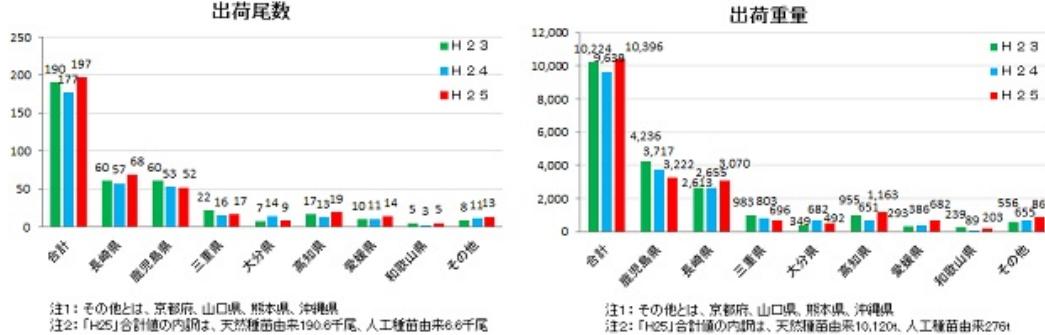
190千尾(平成23年)

②出荷重量

全国計:10,396t(平成25年)

9,639t(平成24年)

10,224t(平成23年)



注1: その他とは、京都府、山口県、佐賀県、熊本県、沖縄県

注2: 「H25」合計値の内訳は、天然種苗由来190.6千尾、人工種苗由来8.6千尾

注1: その他とは、京都府、山口県、佐賀県、熊本県、沖縄県

注2: 「H25」合計値の内訳は、天然種苗由来10,120t、人工種苗由来276t

(5)クロマグロ種苗採捕に関わった漁船の数(暦年集計)

全国計:1.5千隻(平成25年)

1.9千隻(平成24年)

2.3千隻(平成23年)

3.平成24年実績の確定

平成25年3月29日付けで公表している「平成24年における国内のクロマグロ養殖実績について」は、内容精査を行い数値を確定しましたので、今般併せて訂正を行っています。

参考

平成22年5月11日付けプレスリリース

「太平洋クロマグロの管理強化についての対応」について

<http://www.jfa.maff.go.jp/j/press/kokusai/100511.html>

平成25年3月29日付けプレスリリース

平成24年における国内のクロマグロ養殖実績について

http://www.jfa.maff.go.jp/j/press/saibai/130329_1.html

— お問い合わせ先 —

増殖推進部栽培養殖課

担当者：保科、渡邊

代表：03-3502-8111（内線6821）

ダイヤルイン：03-3502-0895

FAX：03-6744-2386

資源管理部漁業調整課

担当者：永田、木村

代表：03-3502-8111（内線6701）

ダイヤルイン：03-3502-8476

FAX：03-3595-7332